

コメッツニュース THE COMETS NEWS

発行：東京コメッツ野球クラブ

編集：野内 直己

Tel 03(5979)2821

事務局：吉田 亘孝

Tel&Fax 03(5970)0788

曇天の中第7戦 還暦コメッツは全勝優勝！！

毎週日曜日になると抜けるような青空の日が続いていましたが、第7戦が行われた5月30日は久しぶりに曇り空。どんよりした雲を吹き飛ばさんばかりにこの日も熱い戦いが4試合！一方、シニアの有志による対外試合「東京還暦野球連盟春季リーグ戦」において我がコメッツは見事に7戦全勝で優勝！衰えを知らない「老いてますます盛ん」なコメッツ戦士に脱帽！（関連記事P8～10）



見事に東還連春季大会を7戦全勝で優勝したコメッツ還暦チームメンバーの勇姿（長濱選手撮影）

ホームページに一部の選手のバッティングやピッチングの動画映像をアップしました！（26選手）
フォームチェック等に是非ご活用下さい。順次各選手を撮影し、出来るだけ早く全選手の映像をお届け致します！



★ 本多 大殊勲！ 清水SC逆転サヨナラ！

第一試合 SC 8-7 SA

2010年5月30日 9:20 試合開始

（於）大井海浜公園野球場

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
SA	1	0	1	0	0	3	2	7
SC	0	0	3	0	0	2	3×	8

勝	名雪	4 試合 2 勝 1 敗
敗	柳澤	6 試合 2 勝 3 敗
三塁打	増田章 (SC)	
二塁打	上野 名雪 (SC)	
	小林 水野 関 (SA)	

<勝利コメント>

初回 またしても2点先攻されるも 怪我から復帰の 増田選手の一打で追いつき、その後逆転許すも！今日の我がチームの打線は凄かった。最終回同点に追いつき、無死三塁で 私の(10) サヨナラヒットで 逆転勝ち 復調の名雪投手、全員野球で勝利 皆さん 有難うございました。

代理 (SC10)

★ 伊藤進完投！主砲 釣部 勝ち越し大三塁打！

第二試合 JC 9-12 JA

2010年5月30日 11:15 試合開始

（於）大井海浜公園野球場

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
JA	2	0	0	1	0	3		6
JC	2	0	0	0	0	0		2

勝	伊藤進	5 試合 3 勝 1 敗
敗	久保田	6 試合 4 勝 1 敗
三塁打	釣部 (SA)	
二塁打	正木 古川 千葉 (SC)	
	伊藤進 (SA)	

<勝利コメント>

JC 無敗のエース久保田投手対、2 敗のリベンジを「絶対勝つ」と試合前、激を飛ばしてのぞんだ JA 打線の対決は、初回先頭の木村晃選手がセンター前で出塁 2 番半田選手がしぶとく選んで、すかさずダブルスチール 3 番田村が右打ち、5 番釣部選手が犠飛と2点先攻。しかしさすがに JC もその裏古川選手のあわやホームランか？のタイムリーで2点を返す。「試合前の1点ゲーム」になるミーティングが実り、引っ張らずにコンパクトに（センター返し）そして、ここまでの打撃不調の5番釣部選手が左中間に勝ち越しタイムリー、さらに1番木村晃、2番半田選手のダブルスチール 3 番田村がしっかり打ち返し追加点。決めては4番伊藤進選手が「エンドラン」をライト線に見事に決め、ダメ押しタイムリーと最高の形で JC「久保田」攻略に成功、終わってみればさすが JA 伊藤投手の初回の2点のみ。守ってはレフトの岡野選手の再三の“ファインプレー”など投、打もかみ合いあふなげなく完勝した。一言「嬉しい！！」今日は最高の試合ができました。御苦労さん、ありがとう。

JA カントク

★ 佐藤昭 勝利のスリーベース！小柴完投5勝！

第三試合 JD 3-7 JB

2010年5月30日 13:10 試合開始

（於）大井海浜公園野球場

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
JB	0	0	1	4	1	0	1	7
JD	1	0	0	1	0	1	0	3

勝	小柴	7 試合 5 勝 2 敗
敗	手嶋	5 試合 3 敗
三塁打	佐藤昭 (JB)	
二塁打	嶋村 (JD) 澤辺 (JB)	

<勝利コメント>

前の試合で JC が負けてどうしても勝ちたい一戦。1 回に JD に先取点を取られ、手嶋投手の粘投もあり少し苦しんだが3回に同点に追いつくと4回に伏兵佐藤選手の3塁打などで一気に逆転！長尾監督、渡辺選手のマルチヒットなどで追加点をあげ逃げ切った。バックも堅守、攻守で小柴投手の好投にこたえ快勝した。これで、JC と並んだ。

26 近藤

★島崎 完投2勝!長濱SB 快勝!

第四試合 SD 10-2 SB

2010年5月30日 15:05 試合開始 (於)大井海浜公園野球場

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
SB	0	0	0	1	0	0	1	2
SD	2	1	3	2	2	0	×	10

勝	島崎	3 試合	2 勝 1 敗
敗	放生	2 試合	1 敗

<勝利コメント> 僭越ながらの勝利コメント

前回、SC戦は最終回打ち込まれ敗戦し、ちょっと重い気分で臨んだ強豪SB戦。

手投手放生選手の9四死球の乱調に10安打を浴びせ先制、中押し、ダメ押しの理想的な試合運びで快勝。プロパー、ヘルパー(介護?)の両方の息が有って老練、島崎投手の無死四球、2失点の好投もあり、篠原選手の適時打、2盗塁もありで爽やかな5月の最終戦を勝たせて頂いた。

有難うございました。6月以降も皆んなで頑張りましょう!でも怪我人が多く、篠さんはお目目、星野さんは靱帯裂傷と次回が心配。

闘病療養中の片倉選手が野球をしたい一心で頑張ってます。野球を今出来る喜びを噛みしめて楽しく明るく一生懸命行きましょう。

SD 監督 95

◎ 公式戦記録第37期勝敗表

●ジュニアリーグ 第7戦まで

*引分試合は、0.5 勝、0.5 敗で勝率計算

順	チーム	J C	J B	J A	J D	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率	ゲーム差
1	J C	***	●○	○○●	○○	5	2	0	0.714	53	25	.257	2.33	-
1	J B	○●	***	●○	○○○	5	2	0	0.714	37	25	.231	2.12	0
2	J A	●●○	○●	***	○○	4	3	0	0.571	37	30	.170	2.21	1
4	J D	●●	●●●	●●	***	0	7	0	0.000	22	68	.240	7.78	4.0

●シニアリーグ 第7戦まで

*引分試合は、0.5 勝、0.5 敗で勝率計算

順	チーム	S B	S D	S A	S C	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率	ゲーム差
1	S B	***	○○●	○●	●○	4	3	0	.571	51	41	.335	3.41	-
1	S D	●●○	***	○○	○●	4	3	0	.571	57	37	.299	3.13	0
2	S A	●○	●●	***	○○●	3	4	0	.426	46	55	.302	4.20	1.0
2	S C	○●	●○	●●○	***	3	4	0	.426	57	52	.303	7.25	0

●総合勝敗表 第7戦まで

*引分試合は、0.5 勝、0.5 敗で勝率計算

順	チーム	勝	負	分	勝率	ゲーム差
1	B	9	5	0	.643	-
2	C	8	6	0	.571	1.0
3	A	7	7	0	.500	1.0
4	D	4	10	0	.286	3.0

●ジュニアリーグ 投手成績表 第7戦まで

規定投球回14回以上

順位	所属	選手名	背番号	登板数	防御率	投球回	打者数	被安打	被本塁打	奪三振	与四球	ボーク	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	JA	伊藤 進	83	5	1.22	23	99	20	0	11	9	1	15	4	2	0	0	3	1
2	JB	小柴 幸夫	30	7	1.50	42	182	37	1	21	7	0	21	9	6	0	2	5	2
3	JC	久保田 豊男	67	6	1.75	32	140	23	0	26	14	0	15	8	5	0	2	4	1
4	JA	澤邊 重徳	29	4	3.00	14	68	6	0	11	14	0	9	6	2	0	0	1	2
5	JD	手嶋 信夫	75	5	6.05	22	127	23	0	8	34	1	30	19	2	0	0	0	3

規定投球回14回未満

JD	豊田 記剛	24	1	4.67	6	31	4	0	2	12	0	5	4	1	0	0	0	1
JC	金丸 和彦	53	2	5.00	7	41	10	0	5	11	1	10	5	1	0	0	1	1
JB	野坂 英明	73	1	7.00	1	6	0	0	0	3	0	3	1	0	0	0	0	0
JD	嶋村 俊哉	10	4	7.00	6	47	7	2	2	16	0	18	6	0	0	0	0	1
JA	釣部 義之	64	1	14.00	1	12	1	0	1	5	0	6	2	0	0	0	0	0
JD	澤 雄策	44	1	14.00	1	16	2	0	0	4	0	6	2	0	0	0	0	0
JD	吉田 秀樹	21	2	42.00	1	12	3	0	0	6	0	6	6	0	0	0	0	1

●ジュニアリーグ 捕手成績表 第7戦まで

規定イニング14回以上

順位	所属	選手名	背番号	試合数	出場回	阻止率	許盗塁	阻止数	合計	打妨害
1	JA	田村 陽平	23	7	34	0.091	20	2	22	0
2	JC	金丸 和彦	53	4	21	0.087	21	2	23	1
3	JD	吉田 秀樹	21	5	24	0.024	40	1	41	1
3	JC	須藤 聡之	99	3	12	0.000	7	0	7	0
3	JB	金田 不二雄	41	5	25	0.000	16	0	16	1

規定イニング14回未満

	JD	手嶋 信夫	75	0			0	0	0	0
	JB	中村 勝浩	91	1	6	0.000	3	0	3	0
	JC	加藤 正美	92	1	6	0.000	5	0	5	0
	JD	石崎 知行	22	1	1	0.000	7	0	7	0
	JB	長尾 善弘	19	2	8	0.000	9	0	9	0
	JA	前崎 義博	12	1	4	0.000	9	0	9	0
	JD	木村 豊行	20	2	10	0.000	31	0	31	0

●シニアリーグ 投手成績表 第7戦まで

規定投球回14回以上

順位	所属	選手名	背番号	登板数	防御率	投球回	打者数	被安打	被本塁打	奪三振	与四球	ボーク	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	SB	柿崎 幸人	68	5	1.56	27	119	29	0	28	6	0	13	6	3	0	1	4	0
2	SD	島崎 巖	45	3	2.10	20	94	27	0	6	0	0	15	6	3	3	0	2	1
3	SD	伊藤 住夫	1	4	3.50	14	68	20	1	11	3	0	13	7	2	0	0	1	1
4	SA	柳澤 誠	40	6	3.74	24 1/3	132	30	0	15	14	0	33	13	3	0	0	2	3
5	SC	名雪 順一	25	4	6.05	22	112	37	2	8	7	0	23	19	3	0	0	2	1

規定投球回14回未満

	SC	本多 良行	10	1	0.00	2	14	1	0	3	5	0	4	0	0	0	0	0	1
	SD	片倉 政勝	21	2	2.80	10	49	8	1	5	4	0	10	4	0	0	0	1	1
	SA	和田 恵二	39	1	4.67	3	17	6	1	3	1	0	6	2	0	0	0	0	1
	SA	関 敬一	14	3	5.44	9	53	15	1	3	4	0	15	7	0	0	0	0	0
	SB	放生 博充	18	2	7.00	7	43	13	2	6	10	0	11	7	0	0	0	0	1
	SD	篠原 二郎	74	1	7.00	1	7	1	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0
	SC	清水 敬之	99	2	7.00	7	35	8	0	1	8	0	8	7	0	0	0	0	0
	SB	島本 保弘	28	2	7.64	11	72	23	1	2	9	0	27	12	2	0	0	0	2
	SC	木川 史弘	60	3	9.39	12 2/3	75	25	4	5	8	0	24	17	1	0	0	1	2

●シニアリーグ 捕手成績表 第7戦まで

規定イニング14回以上

順位	所属	選手名	背番号	試合数	出場回	阻止率	許盗塁	阻止数	合計	打妨害
1	SC	本多 良行	10	7	42	0.042	46	2	48	0
2	SB	島本 保弘	28	5	34	0.037	26	1	27	0
3	SD	小池 辰男	50	4	18	0.000	7	0	7	0
3	SA	平林 襄	12	4	15	0.000	15	0	15	0
3	SD	長濱 榮昭	95	5	27	0.000	27	0	27	0

規定イニング14回未満

	SB	小林 恵一	56	1	4	0.333	2	1	3	0
	SC	清水 敬之	99	1	2	0.125	7	1	8	0
	SA	数見 貞男	90	3	13	0.000	15	0	15	0
	SB	秋山 広	81	2	7	0.000	15	0	15	0
	SA	和田 恵二	39	3	13	0.000	16	0	16	0

●ジュニアリーグ 打撃成績表 第7戦まで

規定打席 13以上

順位	所属	選手名	背番号	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	JC	千葉 克徳	0	6	0.538	18	13	9	7	3	0	1	8	4	4	0	0	1	13	1.000	0.647
2	JC	久保田 豊男	88	7	0.500	19	12	5	6	0	0	0	5	6	5	0	1	0	6	0.500	0.632
2	JD	嶋村 俊哉	10	6	0.500	16	14	2	7	5	0	0	5	2	0	2	0	0	12	0.857	0.563
4	JD	川嶋 歩	45	7	0.400	20	15	7	6	0	0	0	3	4	17	0	1	0	6	0.400	0.500
5	JC	金丸 和彦	53	7	0.375	18	16	2	6	0	0	0	2	2	2	1	0	0	6	0.375	0.444
6	JA	梅原 義信	33	7	0.357	17	14	1	5	1	0	0	3	3	3	0	0	0	6	0.429	0.471
7	JB	長尾 善弘	19	7	0.348	24	23	7	8	1	0	0	4	1	6	2	0	0	9	0.391	0.375
8	JD	木村 豊行	20	7	0.316	20	19	3	6	0	0	0	4	0	5	3	1	0	6	0.316	0.300
9	JA	木村 晃	15	6	0.313	18	16	7	5	0	0	0	2	2	10	2	0	0	5	0.313	0.389
10	JA	田村 陽平	23	7	0.308	20	13	6	4	0	0	0	3	7	10	0	0	0	4	0.308	0.550
11	JB	片桐 広景	4	7	0.294	24	17	4	5	0	0	0	4	6	6	1	0	1	5	0.294	0.478
11	JB	渡辺 憲司	8	7	0.294	24	17	7	5	1	1	0	3	7	9	5	0	0	8	0.471	0.500
13	JA	前崎 義博	12	6	0.273	14	11	3	3	0	1	0	2	3	3	1	0	0	5	0.455	0.429
14	JB	小柴 幸夫	30	7	0.267	21	15	2	4	2	0	0	3	6	6	1	0	0	6	0.400	0.476
14	JD	手嶋 信夫	75	7	0.267	18	15	2	4	0	0	0	3	2	1	2	1	0	4	0.267	0.333
14	JA	佐藤 昭史	48	6	0.267	16	15	3	4	1	1	0	3	1	1	3	0	0	7	0.467	0.313
17	JC	栗原 恒男	69	7	0.235	19	17	5	4	0	0	0	2	2	12	2	0	0	4	0.235	0.316
18	JC	正木 茂	16	6	0.231	19	13	3	3	1	0	0	5	6	1	3	0	0	4	0.308	0.474
18	JB	野坂 英明	73	6	0.231	17	13	2	3	2	0	0	2	4	4	3	0	0	5	0.385	0.412
20	JD	吉田 秀樹	21	7	0.222	19	18	1	4	0	0	0	1	1	2	2	0	0	4	0.222	0.263
21	JC	野内 直己	11	5	0.200	17	15	4	3	0	0	0	1	2	7	0	0	0	3	0.200	0.294
21	JC	大畠 敏祐	77	6	0.200	16	15	5	3	1	0	1	6	1	0	3	0	0	7	0.467	0.250
23	JB	伊藤 進	83	7	0.188	20	16	2	3	1	0	0	5	4	2	1	0	0	4	0.250	0.350
23	JC	須藤 聡之	99	6	0.188	19	16	7	3	3	0	0	2	3	4	2	0	0	6	0.375	0.316
23	JA	中村 勝浩	91	6	0.188	18	16	2	3	1	0	0	4	2	2	0	0	0	4	0.250	0.278
26	JB	金田 不二雄	41	5	0.182	14	11	1	2	1	0	0	1	3	4	4	0	0	3	0.273	0.357
27	JA	釣部 義之	64	7	0.167	17	12	3	2	0	1	0	5	4	2	2	1	0	4	0.333	0.353
28	JD	向日 晴彦	13	6	0.154	13	13	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0.154	0.154
29	JB	近藤 福仁	26	7	0.125	21	16	3	2	0	0	0	2	5	3	1	0	0	2	0.125	0.333
30	JB	戸村 真二	63	5	0.091	16	11	2	1	0	0	0	0	5	1	3	0	0	1	0.091	0.375
30	JB	萬田 裕幸	47	6	0.091	14	11	3	1	0	0	0	0	3	1	2	0	0	1	0.091	0.286
32	JC	加藤 正美	92	5	0.083	17	12	5	1	0	0	1	1	5	5	1	0	0	4	0.333	0.353
32	JA	澤邊 重徳	29	7	0.083	16	12	2	1	0	0	0	1	4	4	3	0	0	1	0.083	0.313
34	JA	半田 英彦	6	7	0.000	21	12	6	0	0	0	0	2	9	12	1	0	0	0	0.000	0.429
34	JA	北濱 ちぐさ	85	7	0.000	15	13	2	0	0	0	0	0	2	1	6	0	0	0	0.000	0.133
34	JA	植竹 徹	37	6	0.000	13	10	1	0	0	0	0	1	3	1	4	0	0	0	0.000	0.231

規定打席 13未満

	JC	古川 勝支	58	4	0.273	12	11	4	3	1	0	0	0	0	2	0	0	1	4	0.364	0.273
	JD	石崎 知行	22	5	0.143	11	7	2	1	0	0	0	0	4	2	2	0	0	1	0.143	0.455
	JD	澤 雄策	44	3	0.125	8	8	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0.125	0.125
	JA	岡野 照一	51	5	0.111	12	9	4	1	0	0	0	1	3	3	2	0	0	1	0.111	0.333
	JD	鍋倉 敏	43	3	0.000	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
	JD	安部 一郎	14	2	0.000	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.000	0.000
	JD	豊田 記剛	24	1	0.000	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.000	0.500

●シニアリーグ 打撃成績表 第7戦まで

規定打席1.8×6以上

順位	所属	選手名	背番号	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打	犠飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	SA	柳澤 誠	40	7	0.600	22	20	5	12	0	3	1	9	2	7	0	0	0	0	21	1.050	0.636
2	SC	平澤 慧一郎	51	7	0.500	24	24	5	12	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	15	0.625	0.500
3	SB	放生 博充	18	6	0.474	20	19	6	9	1	1	1	6	1	3	3	0	0	0	15	0.789	0.500
4	SB	秋山 広	81	5	0.467	17	15	7	7	1	0	1	4	2	6	1	0	0	0	11	0.733	0.529
5	SC	名雪 順一	25	4	0.462	14	13	1	6	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	8	0.615	0.500
6	SD	伊藤 住夫	1	7	0.458	25	24	9	11	3	0	2	7	1	5	2	0	0	0	20	0.833	0.480
7	SB	柿崎 幸人	68	8	0.440	28	25	8	11	1	0	1	4	3	3	1	0	0	0	15	0.600	0.500
8	SB	島本 保弘	28	8	0.435	26	23	11	10	1	4	0	4	3	8	0	0	0	0	19	0.826	0.500
9	SD	佐藤 泰文	65	6	0.400	22	20	7	8	3	0	0	5	2	3	3	0	0	0	11	0.550	0.455
10	SD	星野 一美	29	6	0.368	21	19	7	7	1	0	1	4	1	6	1	1	0	0	11	0.579	0.381
11	SA	田中 誠	80	7	0.333	24	21	8	7	0	0	0	1	3	#	7	0	0	0	7	0.333	0.417
11	SA	水野 幸雄	22	7	0.333	20	18	3	6	4	0	0	2	2	1	2	0	0	0	10	0.556	0.400
13	SC	本多 良行	10	6	0.316	20	19	4	6	1	0	0	4	1	3	2	0	0	0	7	0.368	0.350
13	SB	小林 恵一	56	8	0.316	22	19	4	6	0	0	0	4	3	2	2	0	0	0	6	0.316	0.409
15	SC	中村 康夫	55	7	0.304	27	23	7	7	1	1	1	5	4	#	4	0	0	0	13	0.565	0.407
16	SD	長濱 榮昭	95	6	0.294	20	17	5	5	0	0	1	4	2	4	2	1	0	0	8	0.471	0.350
17	SB	木村 清	42	7	0.286	21	21	3	6	1	1	0	5	0	1	1	0	0	0	9	0.429	0.286
18	SB	愛澤 皓滋	96	8	0.273	24	22	5	6	2	0	0	2	2	3	3	0	0	0	8	0.364	0.333
19	SA	町田 健一	57	6	0.267	16	15	3	4	0	1	0	3	1	2	1	0	0	0	6	0.400	0.313
20	SD	小池 辰男	50	6	0.263	22	19	8	5	0	0	1	6	3	7	3	0	0	0	8	0.421	0.364
20	SC	木川 史弘	60	6	0.263	22	19	9	5	0	1	1	6	2	3	3	1	0	0	10	0.526	0.318
22	SA	和田 恵二	39	7	0.250	22	20	4	5	1	0	0	4	2	5	1	0	0	0	6	0.300	0.318
23	SA	平林 襄	12	7	0.235	18	17	3	4	2	0	0	2	1	4	2	0	0	0	6	0.353	0.278
24	SC	上野 正二	62	4	0.231	14	13	3	3	1	0	0	3	1	0	2	0	0	0	4	0.308	0.286
25	SA	木村 義一	27	7	0.222	21	18	5	4	1	0	0	3	2	4	4	1	0	0	5	0.278	0.286
25	SB	小澤 浩	8	6	0.222	21	18	2	4	1	0	0	3	2	2	5	1	0	0	5	0.278	0.286
27	SA	数見 貞男	90	7	0.214	21	14	7	3	0	0	0	1	6	6	1	1	0	0	3	0.214	0.429
27	SA	小林 昭彦	3	5	0.214	16	14	1	3	1	0	0	3	2	2	1	0	0	0	4	0.286	0.313
29	SC	増田 章三	33	5	0.182	14	11	2	2	0	1	0	3	2	3	1	1	0	0	4	0.364	0.286
30	SB	長谷川 正顕	7	7	0.176	20	17	1	3	0	0	0	0	3	2	3	0	0	0	3	0.176	0.300
31	SD	本間 健二	67	6	0.167	20	18	0	3	0	0	0	1	2	5	3	0	0	0	3	0.167	0.250
32	SA	関 敬一	14	7	0.158	22	19	5	3	1	0	0	3	3	2	5	0	0	0	4	0.211	0.273
33	SB	鈴木 実	32	6	0.143	14	14	0	2	0	0	0	2	0	1	6	0	0	0	2	0.143	0.143
33	SD	篠原 二郎	74	7	0.143	21	21	2	3	0	0	0	2	0	4	5	0	0	0	3	0.143	0.143
35	SC	服部 要司	86	7	0.136	24	22	2	3	0	0	0	1	2	1	3	0	0	0	3	0.136	0.208
36	SC	下平 義郎	59	6	0.105	23	19	4	2	0	0	0	2	4	3	3	0	0	0	2	0.105	0.261
37	SD	増田 香	17	7	0.053	21	19	4	1	0	0	0	1	2	0	5	0	0	0	1	0.053	0.143

規定打席1.8×6未満

	SD	片倉 政勝	21	3	0.556	10	9	3	5	1	0	1	3	1	2	0	0	0	0	9	1.000	0.600
	SD	増田 譲	9	1	0.333	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.333	0.333
	SC	清水 敬之	99	4	0.300	12	10	3	3	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	3	0.300	0.417
	SD	島崎 巖	45	3	0.222	11	9	0	2	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	2	0.222	0.364

★ 還暦リーグコーナー

トップページにて既報通り、コメッツ還暦リーグチームが「東京還暦野球連盟春季リーグ戦」におきまして見事全勝優勝を果たしました！以下、平林還暦チーム監督の優勝コメントと長濱選手のリーグ戦レポートです。

春季還暦リーグを振り返り

この春から監督を託され、7チームと対戦しましたが、どのチームも手ごわさを感じました。コメッツの勝因は最終戦までベンチを含めてナイン全員が、集中力を欠かさなかった事と思います。試合面で技術以上の安定したピッチング力で相手に打つ隙を与えなかった感があった。

他のポジションに関しては失策も無く、各自の役割を果たしたと思います。攻撃に関しては最終回までチャンスを逃がさず、得点に結びつけた事が功をそうしました。残念な事に期待していたナインが病気、怪我で戦列を離れた事です。早く治して復帰する事を願っています。秋のリーグでは更に上を目指して各自の実績、経験を生かして、コメッツの看板を背負い更なる活躍を期待しています。

自身も微力ながら少しでもナインの手助けが出来ればと、思っています。 お疲れ様でした。
還暦 30 平林

東還連Kリーグ

有終の美に華飾る、春季リーグ全勝優勝！！

Kリーグ第7戦の最終戦、葛飾ホーネッツと対戦し、柿崎投手の力投と主軸の適時打で快勝し、今リーグ戦7戦7勝の完全優勝を成し遂げた。秋のリーグ戦では、東還連7,8部制に移行以来初めての5部昇格を果たした。5部リーグには、4部からの強豪、東京ライオンズ、東都スターズも加わります。今リーグの結果に満足することなく一層の努力、精進が望まれます。



第6戦 5月15日 大井E

	1	2	3	4	5	6	7	計
ジョイフル	0	0	0	0	0	0	0	0
コメッツ	1	0	3	0	6	3	X	13

○柿崎ー島本

本塁打：島本、伊藤、秋山

二塁打：伊藤

*1回に伊藤の二塁打に続き山本のタイムリーで先制、3回には島本のスリーランで追加点。5回には伊藤の本塁打をきっかけに山本、柿崎と四球で満塁から星野の三塁エラーの間に如才なく2点追加その後も代打秋山のツーランで大量6点、6回にも数見の四球から盗塁、伊藤、山本の連続タイムリーヒット、最後に町田のセンター前適時打でダメ押し、柿崎の1安打完封で6連勝を飾り九分通り5部昇格とリーグ優勝を確実にした。

95

第7戦 6月5日 足立上沼田

	1	2	3	4	5	6	7	計
コメッツ	0	1	0	1	0	1	0	3
ホーネッツ	0	0	0	0	0	0	0	0

○柿崎ー島本

三塁打：柿崎 二塁打：柿崎、伊藤、山本

*二回に柿崎の適時二塁打で先制。4回に伊藤、山本の連続二塁打で追加点。六回には相手エラーを足場に柿崎の三塁打でダメ押し、柿崎の投打にわたる活躍で7戦目もものにした。

しかしながら相手投手は72歳の超ベテラン。ランナーが出て再三の得点機に後一本が出ず

各打者の軟投に対する頭を働かせる工夫をすればもっと投手を楽にさせたと思われる。
今大会は、伊藤、柿崎両投手に頼ることが多かったが、これからは打つ方に、守りの方に重きを置いて次期リーグ戦にひと工夫すればさらに上を目指せるであろうとの外野席の意見。 95

還暦リーグ過去5年間成績

18年春6部	0勝5敗	*リーグ編制替えて6部編入
18年秋7部	0勝5敗	
19年春6部	2勝5敗	*リーグ編制替えて6部編入
19年秋7部	3勝3敗1分	
20年春7部	2勝5敗	
20年秋8部	2勝2敗	3勝1敗(優勝)*チーム数の関係で前後期戦
21年春7部	7勝0敗	(優勝)
21年秋6部	4勝3敗	
22年春6部	7勝0敗	(優勝)
22年秋5部	ご期待下さい!	



どっじゃー! 35年後のコメッツの4番バッター
長濱虎之介

※思い起こせば5年間は還暦リーグの戦いは、当初本当に寂しい戦いの連続でした。
選手は何時もぎりぎりの10名でスコアラーもいない状態の中での苦しい試合の連続でした。
しかしながら20年秋にリーグ最下位の8部にまで降格になり、他チームから批判の声、
コメッツはこんな所にいるなんて情けないという言葉に奮起し、8部優勝!
このリーグ戦は、東還連のメイン行事です。コメッツの創設35年の名誉が有りました。
続く21年春には若い参加選手も増え7部で全勝優勝。21年秋は6部に昇格勝ち越しました。
そして今季22年春は投げては伊藤、柿崎両投手の力投、打っては逆転、サヨウナラゲームを
成しえ、本当に全員野球の賜物でした。本年7月には、3年連続で関還連の大会にも推奨され、
9月にも岩手・奥州市で開催される選抜選手権大会にも出場が決定しております。
現在でも試合の参加メンバーは12~13名がやっとです。還暦メンバーの3分の1程度です。
今後のコメッツメンバーの方の奮っての参加、応援を期待いたします。
最後に、人として①素直さ②謙虚さ③朗らかさ、選手として①不断の工夫②闘志そして
③For the teamの自己犠牲、この言葉は先日突然亡くなった巨人軍の木村拓也選手のモットーとして
いたお言葉です。一度それぞれが噛みしめてみたいものです。
控えてベンチで応援して頂いた選手こそ最高の殊勲選手であること心から感謝申し上げます。
秋季大会には、5部に昇格し残留チームは勿論、4部から降格チームとも対戦します。チーム
一丸となって、紅葉狩の頃には、また素晴らしい報告を皆様方に出来ること期待しております。
応援よろしくお願いいたします。(還暦広報 95)

<今後の還暦日程>

(1) 東部リーグ開幕

6/12(土)	足立谷中	11:00 開始	対東都スターズ
6/26(土)	足立谷中	11:00 開始	対足立クラブA
7/03(土)	三郷	12:00 開始	対足立クラブB
7/10(土)	三郷	10:00 開始	対ホーネッツ

*この大会の意義は、公式ゲームでは有りませんが秋までの試合勘を維持させて各自の能力の再確認、
秋に向けての適応性等が試される舞台です。

監督に自分自身の守備及び打撃の特異性、得意性を十分アピールして下さい。
皆さんの向上心、積極性を期待する重要な大会です。

（2）還暦リーグ春季優勝及び5部昇格祝賀会

6/19(土) 新宿3丁目 えび忠 18:00 より

参加予定者は、平林監督、伊藤主将、長濱広報補佐まで15日までに申込みお願いいたします。

（3）関東還暦軟式野球大会

7/24(土)より開催予定 品川・大井スポーツセンター

6/25 ごろトーナメント抽選会予定。

★ 柳澤事務局長より

広報関連担当専門委員登録者募集の件

事務局長 柳澤 誠

現運営委員発足し、半年が経過致しましたが、先日のコメッツニュースでご案内の通り、将来を見据え、広報関連の専門委員を公募致します。

＜1＞現行の問題点

- ①運営委員が変わる度に広報関連のレベルが変わる。過去のコメッツニュースでも発行時期、内容に基準がなく担当員によりバラバラである。
- ②専門委員で担当者一人しか解らないものがあり、代行するにもそれを補うシステムが構築されていない。それにより他の役員が模索しながら代行し、負担増となり作業停滞を起こす。

＜2＞改善策

毎期毎に運営委員が都度一般会員から人選をする現行の方法ではなく、組織全体で総括したシステムを作る。

複数の専門委員を登録制（項目別）にし、それより毎期の運営委員が人選をする。

＜3＞登録制までの経路

- ①項目別に会員よりコメッツニュースで公募する。→②応募者及び応募者人数が不足した場合は、現運営委員よりリストアップする。→③リストアップにより該当者に承諾を得る。→④決定した人選により全体会議を開き運用の詳細を決める→⑤運用開始：平成23年度

＜4＞公募内容

（敬称略）

公募担当	主な作業	H22年担当			備考
		運営委員	専門委員	一般会員	
広報担当	①コメッツニュース発行 ②通算データ管理	野内			
記録係り	スコアシート集計	野内	久保田		
広報発送	コメッツニュースの発送準備（印刷・封筒入れ）及び発送	野内		鍋倉	
ホームページ管理	随時更新		木村豊→ 野内		

＜5＞公募方法

*公募開始日：6月10日（木）*公募締切り日：7月18日（日）*公募受付け：各監督及び運営委員に申し出て下さい。（具体的作業内容等質問があれば、監督・運営委員にお聞き下さい）

<6>その他

自薦他薦、問いません。ふさわしい会員がいれば情報として運営委員にお知らせ下さい。ご協力をお願い致します。

★ 投稿記事コーナー

スコア研修を経験して

コメッツ85 北濱ちぐさ

スコアをつけ始めたきっかけは小林先輩の勧めだった。野球の上達につながるのだと理解した。

「野球スコアと記録のつけ方」（成美堂出版）という本を紹介してくださったのでさっそく購入して独学した。

野球を身体に覚えこませるだけでも苦労している自分にとって、野球に関することとは言え新しいことを頭に入れるのは大変だったが、何とか読み終えスコアブックを持って野球場に行き練習した。少しは身についたかと思われたあとしばらく練習しなかったところ、急に小林先輩から頼まれた時に大分忘れていてほとんどつけられなかった。

チームの役に立つことは良いことだからもう少しがんばらねばと、練習を再開したり小林さんを手伝わせていただいて徐々にわかって行った。そんな中、名雪さん講師のスコア講習に田村監督の指示で参加させていただいた。名雪さんの説明はわかりやすく、また参加者からも質問が飛び交い、独学より孤独感なく学ぶことができた。

休憩を含み時間も十分取られてありじっくり受講することができた。

その後コメッツニュースでスコアの実践研修が受けられることを知り、貴重な機会だと思い申し込んだ。2回の受講許可をいただいた。審判兼スコアラーの平田様の横に座らせていただきスコアを記入しわからないところをお聞きしながら進めた。

平田様からも小林先輩が紹介してくださった本と同じものを紹介していただいた。

1回目の試合は複雑なプレーが多く混乱し、頭がパンク寸前状態になった。目があと二つくらいと呟えた脳みそが欲しいものだったと思った。しかし平田様のと試合内容を容易に思い出すことができ、しかも客観的に振り返る助けとなると思った。

それから、まだまだ試合で生かしてはいないのだが、相手打者の打撃傾向を数字で頭に入れようとするようになった。頭の許容範囲が少ない自分にはありがたいことだ。

最後になったが、審判の平田様、名雪講師、小林先輩、そして受講に際しお世話になった柳澤事務局長に心から感謝申し上げたい。

論者有記

2010.5.20
朝日 朝刊

「野球道」の再定義

絶対服従からリス・ペクトへ



編集委員

西村 欣也
にしむら きんや

飛田穂洲という人物をご存じだろうか。1886年生まれで早稲田大学の野球部に入り、監督も経験。朝日新聞記者としても活躍した。その評論は大きな影響力を持ち、「学生野球の父」と呼ばれる。

彼の理論は今なお生きていく。「野球道」とも呼ばれるその考え方に、異を唱えた人物がいる。巨人で活躍し、ピッツバーグ・パイレーツでメジャー野球も経験した桑田真澄氏だ。

早大大学院の社会人1年制コースを首席で卒業し、最優秀論文賞を受賞したのが「『野球道』の再定義による日本野球界のさらなる発展策に関する研

究」だ。その作成過程について担当教授だった平田竹男氏と対談した「野球を学問する」(新潮社)を出版した。

飛田の「野球道」は「精神の鍛錬」「練習量の重視」「絶対服従」で成り立っている。武士的野球と呼ばれるが、これには暴力が伴う。桑田自身、「小学生の時からグラウンドに行つて殴られない日はなかった」と述懐する。PL学園時代も同級生で1年生から4番に座った清原和博はホームランを打つたびに、「また先輩にしばかれる」と泣きながら塁を回ったというエピソードも紹介されている。桑田論文は野球道の代わりに

「スポーツマンシップ」を中核に置き、「絶対服従」の代わりに「指導者と選手のリスペクト(尊敬)」を据えるべきだと説く。

この論文を書くに当たって、桑田は現役プロ野球選手270人からアンケートをとっている。「指導者から体罰を受けたことがある」は中学で45%、高校で46%。「先輩から体罰を受けたことがある」は中学36%、高校51%。かなりの高率だが、さらに驚くのは体罰について「必要である」、「時には必要である」を合わせると中学でも高校でも83%の選手が体罰を容認しているのだ。

体罰で育てられた選手が、指導者になって体罰を行う。飛田穂洲は戦時中、敵性スポーツと呼ばれた野球を軍部から守った人物でもあるが、今日まで続く

負の連鎖をどうやって断ち切れればいいのだろう。

ヒントはある。京大アメリカンフットボール部の水野弥一監督と対談した時だ。彼は言った。「うちでは、雑用は全部4年生にやらせます。トイレ掃除も。おまえたちが一番強いんだらう。一番勝ちたいんだらう。なら一番嫌な仕事をやれ、と教えます」。逆転の発想で体罰はなくなっていく可能性がある。

今なお、体罰という暴力がなくならない日本のスポーツ界。リンチで死者まで出した大相撲も、「かわいがり」と呼ばれるいじめが消えたとは思えない。その暗部をえぐってみせた桑田論文は貴重である。その実践には、体罰は犯罪であるという当たり前のことを、指導者に徹底していくしかないだろう。